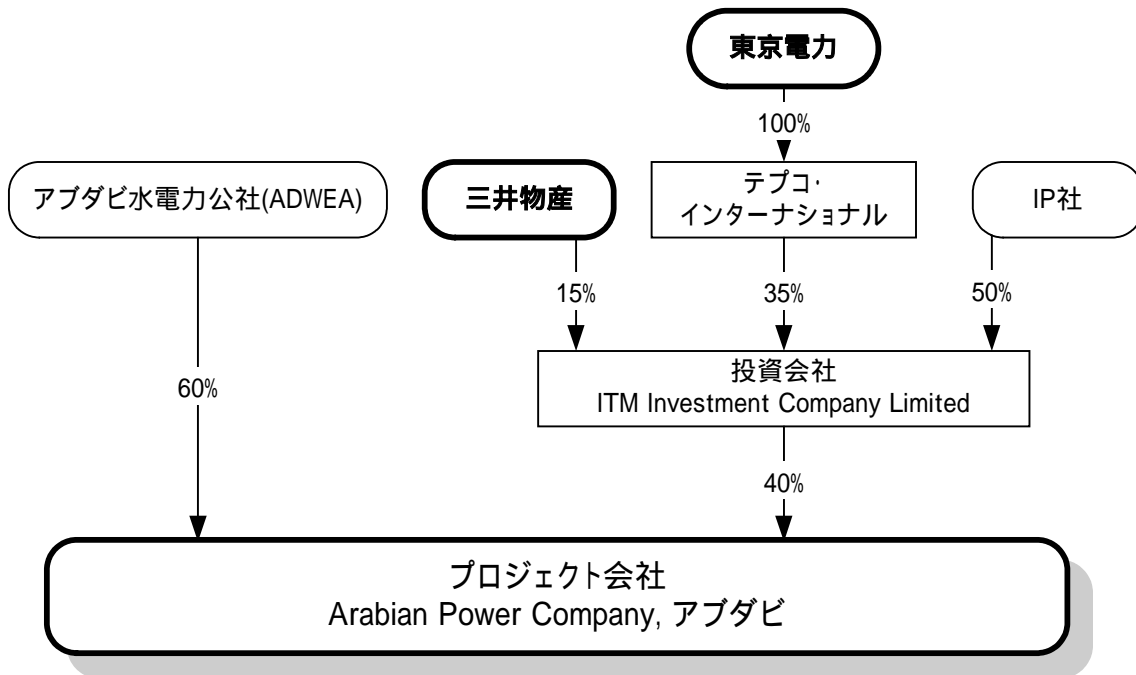


1. アラブ首長国連邦「ウム・アル・ナール発電・海水淡水化プロジェクト」の概要

- (1)所在地 首都アブダビ市の東方約 15km
- (2)総事業費 約 2,500 億円
- (3)発電出力 / 海水淡水化能力
 - 運転中設備 85 万 kW / 日量 75 万トン
 - 新設設備 155 万 kW / 日量 11 万トン
- (4)発電方式 ACC (改良型コンバインドサイクル) 発電方式
- (5)主燃料 天然ガス (パイプラインにて輸送)
- (6)ガス供給会社 ADWEC がアブダビ国営石油 (ADNOC) から調達し供給
- (7)販売先 アブダビ水電力会社 (ADWEC)
- (8)事業期間 運転開始から 20 年間の BOO (build-own-operate) 方式
- (9)着工予定 2003 年 7 月
- (10)運転開始予定 2006 年 6 月 (2005 年 6 月から一部 [70 万 kW] が運転開始)
- (11)コンソーシアム インターナショナルパワー社 (英国) / 東京電力 / 三井物産
- (12)建設契約者 三井物産 (発電設備 : 東芝 / 海水淡水化プラント : 日立造船)



2. コンソーシアムの構成

(1)東京電力株式会社

所在地：千代田区内幸町1-1-3 電話 03-4216-1111 (代表)

社長：勝俣 恒久

(2)三井物産株式会社

所在地：千代田区大手町1-2-1 電話 03-3285-1111 (代表)

社長：槍田 松瑩

(3)インターナショナルパワー社

所在地：英国ロンドン

C E O：David Crane (デビッド・クレーン)

3. プロジェクト会社、投資会社、運転保守会社

(1)プロジェクト会社

名称：Arabian Power Company

所在地：アラブ首長国連邦アブダビ

出資比率：ADWEA 60%、投資会社 (ITM Investment Company Limited) 40%

(2)投資会社

名称：ITM Investment Company Limited

出資比率：IP 社 50%、テプコ・インターナショナル 35%、三井物産 15%

(3)運転保守会社

名称：ITM O&M Company Limited

出資比率：IP 社 70%、テプコ・インターナショナル 30%

4. アブダビ水電力公社の概要

アブダビ政府の水・電力部門の民営化政策に基づいて、1998年に公社として設立。海外の民間企業による発電・海水淡水化事業を導入・実施している。ウム・アル・ナールプロジェクトは4件目となる。

<参考> 海水淡水化プラント

UAEでは、高い人口の伸びを背景に電力需要とともに水需要も急増している。アブダビの2001年の最大水需要は日量150万トンであり、ADWEAは2010年までの最大水需要の伸びを年平均8%として海水淡水化プラントの増設を積極的に進めている。

本プロジェクトの発電・海水淡水化プラントは、発電用蒸気タービンを回転させた後の低圧蒸気を海水淡水化プラントに送り、海水と熱交換することにより海水を蒸発させ淡水を作る方式を採用している。すでに豊富な経験を持つIP社とともに、東京電力の火力発電設備における蒸気タービン・ボイラー運営の豊富な経験の活用をめざす。

5. プロジェクトの位置



6. ウム・アル・ナール発電・海水淡水化プラント配置図

